



# こども宅食応援団

ANNUAL REPORT 2020-2021



とどける、つながる、つなげる こども宅食

こども宅食応援団は、経済的に厳しいご家庭等に定期的に食品等を届けながら、つながりを保ち、必要なときには適切な支援につなぐアウトリーチ型事業「こども宅食」を全国に広げるため活動を行っています。2020年に実施した、全国各地の団体によるこども宅食の立ち上げ・安定運営のサポートを行う「伴走支援」の取り組みをご紹介します。



## こども宅食応援団が取り組むこと



こども宅食の事業モデルの  
進化を探究する



全国のこども宅食事業の  
実施団体に伴走支援を行う



全国でこども宅食が  
継続できる環境をつくる

## 事業計画時の支援



### 先行事例の紹介

単なる食支援ではなく、経済的・社会的困難を抱えるご家庭につながり、関係性をつくり、適切な支援につなげる「アウトリーチ型支援」としての「こども宅食」。実施を検討する団体に向けて、先駆者たちが ①どう事業を立上げ ②どのような体制・宅配品・財源で運営し ③ご家庭との最初の接点づくりから卒業までどう関わっているか といったベスト・プラクティスを紹介します。

### 資金助成や制度に関する情報提供

2020年度はこども宅食が国の第二次・第三次補正予算で「支援対象児童等見守り強化事業<sup>※1</sup>」の対象となったことに合わせ、実施を検討している団体向けの勉強会を二度開催しました。また、農林水産省からこども宅食に備蓄米の提供が開始され、提供の決定および提供量の拡大について、都度情報の提供を行いました。

※1 虐待防止のため、民間団体等を通じ支援ニーズの高い子ども等を見守る事業



### 立ち上げ支援

各地域の社会資源の状況やステークホルダーの状況に合わせて、こども宅食事業の立ち上げの際の助言や情報提供を行っています。2020年度は、秋田、東京、兵庫、奈良、徳島、佐賀、熊本、宮崎、沖縄などの21団体（支援対象 約7,800世帯）への資金助成のアレンジをし、事業の立ち上げや支援の拡充をサポートしました。

## 立ち上げ後の支援



### 資金助成・研修情報の提供

応援団では、こども宅食を実施する上で必要なノウハウの提供を行っています。国の最新動向をはじめ、こども宅食を実施する上で必要となってくるソーシャルワーク<sup>※2</sup>の基本、そして、全国の先進事例の紹介なども発信しています。また、団体の状況に合わせて、資金助成も適宜行っています。

※2 利用家庭の必要に応じて、より専門的な支援へつなぐこと

### 運営相談

事業開始後は、家庭との関係構築に悩んだり、「家庭の困りごとや課題を見つけたときに行政や他団体とどう連携するか?」といった悩みが出てきます。先行団体が行う家庭訪問のノウハウや留意点をまとめた研修資料を提供したり、団体同士が事業実施上の課題や悩みを相談し合える場作り等を行い、事業の運営をサポートしています。



### 活動広報支援

応援団では定期的に全国の団体の活動を広報することで、団体の発信活動をサポートし、その地域で応援する企業や個人の支え合いの輪が広がる手助けをしています。また、こども宅食の全国調査公開などの情報を全国・地方メディアに発信し、活動の認知度・注目度を向上する支援もしています。

### 物資支援・仲介

年間70万アイテムを超える食品や日用品を全国の実施団体に配布し、全国のご家庭にお届けしました<sup>※3</sup>。ザポディショップジャパン株式会社ご提供のクリスマスプレゼントの他、KDDI株式会社から頂いた絵本や、コロナ感染症対策の薬用ハンドジェル等の配布も行いました。

※3 認定NPO法人フローレンスとの協働



## 地域コミュニティの組成

こども宅食実施団体の中には、県または近隣地域において、ともに助け合うコミュニティの形成が少しずつ始まっています。宮崎県では現在12市町村でこども宅食団体が立ち上がり、寄付物品のシェアやノウハウの共有が少しずつ始まっています。こども宅食応援団はこうしたコミュニティ形成のサポートも行っています。

## 都道府県単位等での提言活動

国の予算でこども宅食が実施できるようになっても、自治体が動かなければ民間団体では国の資金を活用することが出来ません。地域から孤立し必要な支援が届いていない家庭の存在を示すデータを準備したり、市町村向けの説明資料を作成・配布するなどして、地域での自治体向け提案の後押しを行います。



# 継続的なつながり

こども宅食応援団では、「こども宅食」の事業の認知拡大、事業への理解促進、国や自治体への提言活動などを行い、こども宅食が全国に広まるための環境づくりも行っています。



## 報告会

ふるさと納税でこども宅食を支援いただいた寄付者のみなさんをお招きし、オンラインでの活動報告会を実施しました。2019年度の活動成果報告の他に2024年度までの活動目標もお伝えすることが出来、こども宅食応援団のこれからを寄付者のみなさんと一緒に語り合いました。

## サミット

2021年4月13日・14日に「第2回全国こども宅食サミット」をオンラインで開催しました。2日間でのべ130名の方々が参加。こども宅食の「今」を共有するとともに、様々な先進事例のノウハウを紹介。また実施団体と、それぞれが抱える課題を共有し、その課題解決のヒントを持ち帰るようなワークショップも開催しました。



## 国への制度改善の提言

全国共通の事業実施上の課題をまとめ、国が行うべき支援を提案します。2020年度は各地で「財源や食品の安定的な確保」の不安の声が多かったため、支援対象児童等見守り強化事業について令和3年度も全額国庫補助率の維持、政府備蓄米のこども宅食への提供開始を国会議員や厚労省・農水省に提案。いずれも実現しました。

## 全国実態調査

多様化する全国各地の実施団体の事業実態を可視化し、どんな成果を生み、どんな課題を抱えているかを明らかにするため、初の実施団体に向けた全国実態調査を行いました。



こども宅食の利用世帯数

6,399世帯



LINEなどのメッセージアプリで  
直接つながっている世帯数

4,455世帯



適切な専門的支援、支援先につないだ世帯数

834世帯



他の支援先につながっていない  
こども宅食だからこそつながれた世帯数

1,268世帯

(調査結果より抜粋)

## こども宅食、全国に拡大中！

2020年度は急速にこども宅食が全国に広がっていきました。こども宅食応援団による広報活動や伴走支援の他に、コロナ禍において密を避けながら活動出来ることや、令和2年度第二次・第三補正予算の「支援対象児童等見守り強化事業」にこども宅食の活動が加わったこと、こども宅食推進議員連盟の立ち上げなど、こども宅食が広まる契機が様々ありました。

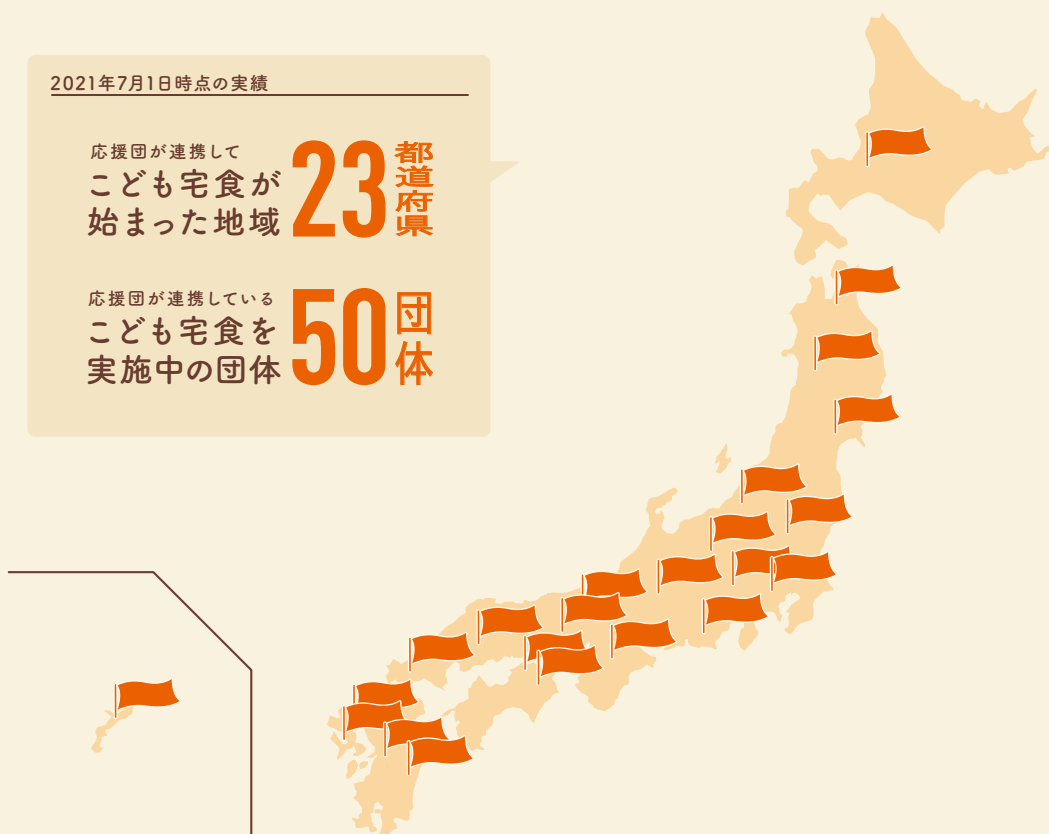


▲最新情報

2021年7月1日時点の実績

応援団が連携して  
こども宅食が  
始まった地域 **23** 都道府県

応援団が連携している  
こども宅食を  
実施中の団体 **50** 団体



## 新型コロナこども緊急支援プロジェクト

新型コロナウイルス感染症の広がりを受けて、全国のこども宅食団体にたくさんのSOSの声が寄せられました。以下の支援の他にも、2020年度前半には佐賀・宮崎などの全国7地域でのべ約2,150世帯への食支援を、2020年度後半には全国8地域で緊急支援プロジェクトを行い、のべ約4,600世帯への支援提供につなげました。（一般社団法人RCFおよび認定NPO法人フローレンスの資金・物資協力によって実施）



支援物資をお届けした世帯数

のべ約 **32,000** 世帯



全国にお届けした  
食品や衛生ケア品

約 **700,000** アイテム

- ・生米 ..... **1,636** kg
- ・お米券 ..... **7,142** 枚
- ・米レトルトパック ..... **22,600** 食
- ・マスク ..... **68,000** 枚

# About

団 体 名 称：一般社団法人こども宅食応援団

設 立：2018年10月

WEBサイト：<https://hiomare-takushoku.jp/>

所 在 地：(佐賀事務局) 840-0824 佐賀県佐賀市呉服元町2-15 COTOCO215

(東京事務局) 101-0051 東京都千代田区神田神保町1-14-1KDX神保町ビル3F



## 理事会メンバー



代表理事

駒崎 弘樹

(認定NPO法人フローレンス 代表理事)



理事

藤沢 烈

(一般社団法人RCF 代表理事)



理事

河合 秀治

(ココネット株式会社 社長)



理事

鴨崎 貴泰

(日本ファンドレイジング協会 常務理事)



理事

村上 絢

(一般財団法人村上財団 代表理事)



## 2020年度財務報告

※金額は下3桁を四捨五入して記載しています

| ご寄付の使い道                                     | (千円)   |
|---------------------------------------------|--------|
| 全国の伴走支援・佐賀での助成事業、<br>およびそのコーディネート(旅費交通費を含む) | 14,991 |
| 事業の普及・啓発等の広報活動                              | 1,591  |
| 法人運営等の事務局運営                                 | 3,080  |
| ふるさと納税の募集に関する費用                             | 6,166  |
| 合計                                          | 25,829 |

| ご寄付と一般正味財産 / 指定正味財産の増減 (千円) |         |
|-----------------------------|---------|
| ① 一般正味財産増減の部                |         |
| 受取寄付金                       | 2,166   |
| 受取寄付金振替額                    | 23,200  |
| 受取助成金                       | 0       |
| 受取利息・雑収入                    | 521     |
| 経常収益計                       | 25,887  |
| 経常費用計                       | 25,829  |
| 当期一般正味財産増減額                 | 58      |
| 一般正味財産期首残高                  | 72      |
| 一般正味財産期末残高                  | 130     |
| ※経常外費用無し                    |         |
| ② 指定正味財産増減の部                |         |
| 受取寄付金                       | 44,265  |
| 一般正味財産への振替額                 | -23,200 |
| 当期指定正味財産増減額                 | 21,065  |
| 指定正味財産期首残高                  | 30,766  |
| 指定正味財産期末残高                  | 51,831  |



## メディア掲載実績 (一部ご紹介)



NHK『ハートネットTV』



日本テレビ『情報ライブ ミヤネ屋』



ハーバービジネスオンライン



佐賀新聞



産経新聞



テレビ

NHK / テレビ朝日 / サガテレビ / 朝日放送テレビ / 奈良テレビ  
放送 / MRT宮崎放送 / KBS京都 / 香港フェニックスTV



新聞

産経新聞 / 朝日新聞 / 毎日新聞 / 佐賀新聞 / 東京新聞 / 徳島新聞 / 新潟日報 /  
長崎新聞 / 京都新聞 / 神戸新聞 / 奈良新聞 / 日本食糧新聞 / 共同通信



ラジオ

NHKラジオ / 文化放送 / TBSラジオ / NBCラジオ



WEB

Yahoo!ニュース / ハフポスト / ハーバー・ビジネス・オンライン / ウーマンエキサイト

## INTERVIEW

# こども宅食応援団と二人三脚で思いも届ける

畑山博×岩間淳×本間奏

「こども宅食応援団」はこども宅食を全国に広げるため、実施団体への立ち上げ支援や、ノウハウ提供などの伴走支援を行っています。佐賀県の2団体からスタートしたこども宅食応援団の輪は今や大きく広がり、現在は全国50団体になりました。(2021年7月現在) 今回はこども宅食に取り組む「京都こども宅食プロジェクト」の畑山博氏、「こども宅食えんまる便」の岩間淳氏、そして「こども宅食応援団」の本間奏による座談会の様子をお届けします。

**本間** 最近では全国的にも宅食支援への注目度が上がり、こども宅食応援団が伴走支援させていただき団体の数も増えてきました。お二人はどんなきっかけで取り組みを始めたのでしょうか。また、私達のサポートで『助かった!』と思われた点はありますか？

**岩間** 事業の立ち上げ時期に助けられました。私たちはもともと訪問型病児保育を行っており、コロナ禍をきっかけに厳しい状況の子育て家庭に出会うことが増えたためこども宅食を始めたのですが、食材を集める方法がわからない、活動資金もないという状況でした。とにかくどうにかしたいという思いでこども宅食応援団にメールを送ったら、丁寧な返信と資料、アドバイスをいただけて無事にスタートできました。もしサポートがなければ事業開始時期はもっと遅れていたと思います。疑問点をすぐ聞ける、頼れる存在があることは、私たちの大きな支えです。

**本間** 確かに地方では近隣に同じような団体がないことも多く、なかなか相談先がありませんよね。

**畑山** 我々は医療的ケア児の事業、保育事業など地域の子育て家庭をサポートする事業をどんどん立ち上げてきた中で、こども宅食の仕組みを知り、こども宅食応援団のアドバイス等を受けながら取り組みをスタートさせました。全国各地のノウハウや情報が集まる「こども宅食応援団」というネットワークのなかで、私たち全国の地域団体がまとまって、寄付企業と協働したり、事業を実施し、地域に事業を増やしたりすることが大事だと考えています。私たちが現場の意見を伝えて、政府備蓄米のこども宅食への利用拡大など、国や行政を動かす力に変えてもらうという良い連携ができているのも、このネットワークの特徴かなと思います。

**岩間** 『こども宅食応援団からサポートを受けている』と対外的に発信することで、食材集めや企業などとの連携がスムーズになりますね。私たちのように規模や実績の小さい団体は、信用の獲得が結構難しいんです。そんなときにこども宅食応援団の資料を見せたり、伴走支援を受けていることを伝えたりすると、相手側の理解や信頼につながりやすくなります。

**本間** 私たちの存在が信頼性の担保となっているのでしょうか。そのような効果は想定していなかったもので、驚くとともにうれしいですね。ご家庭とのやりとりで印象的だったことはありますか？

**畑山** こども宅食応援団経由でレゴブロックを寄付いただいて、クリスマスにレゴブロックをお届けしたときは子どもたちが特に喜びましたね。

**本間** よかったです! 大きな企業からの寄付をいただくことができるのは、全国に連携先がたくさんいるおかげです。

**畑山** 私たちは物資を配るサンタクロースのように思われがちですが、実はそれだけではなく『あなたたちのことを見守っているよ』というメッセージも同時に届けているんですよ。コロナ禍で職を失ったり、収入が減ったりして困っている方々から『温かい言葉をかけてもらえてうれしかった』『孤独感が減った』『社会から見捨てられているような気持ちだったけど見守ってくれる人がいるとわかって救われた』などとお礼をいただいたとき、私たちの気持ちが届いたと感じてこちらもうれしくなりました。

**本間** 素敵なエピソードです。物資の配送を通して関係性を築くことも大きな目的ですね。これからのこども宅食応援団に期待することはありますか。

**岩間** 我々はスタッフ含めて、本当に生き生きとこども宅食事業をやっています。自分たちのやっていることが誰かにつながっていると思うとうれしくなるんです。たくさんの全国の仲間を増やして、この取り組みをもっと広げていってほしいと考えています。よきパートナーとして、一緒により多くの親子を支援できるよう取り組んでいきたいですね。





こども宅食応援団では「親子のつらいを見逃さない社会」を一緒に作っていく、クルー（仲間）を募集しています。こども宅食を全国に広げていく活動を支えるための寄付、共感の輪を広げていくシェアや「いいね!」、お勤め先の企業を通じた支援など、あなたにあった応援方法で、活動に参加しませんか？



## ふるさと納税で応援



こども宅食 佐賀



<https://www.furusato-tax.jp/gcf/1186>

◀この画像が目印！



こども宅食応援団への寄付はふるさと納税を用いて行えます。ふるさと納税は、税金の納め先や希望する使いみちを指定できる制度です。ワンストップ特例申請書または確定申告の手続きによって税額控除が行われるため、実質2,000円の負担で数万円の寄付ができます。（収入額に応じた寄付額シミュレーションもできます）昨年度は940名のみなさんにご支援頂き、4,922万円、目標額に対して164%の達成となりました。ご支援いただいたみなさんありがとうございます！



## その他の支援方法

### SNSで応援

Twitter、Facebookのフォロー、「いいね」や「RT、シェア」で応援をお願いします！「#こども宅食」のハッシュタグを入れた投稿やブログ記事なども大歓迎です！



Twitter



Facebook

### メディアで取り上げる

TV・新聞・雑誌・ラジオ・WEBなどの各種メディアの取材やご紹介も大歓迎です！



取材申し込み

<https://hiromare-takushoku.jp/req>



## パートナー企業・団体・個人のみなさま

こども宅食応援団をさまざまな形で支えていただいた企業・団体・個人のみなさんを一部ご紹介します。（敬称略・50音順）

- 石井食品株式会社
- ウイングアーク1st株式会社
- 内海産業株式会社
- 認定NPO法人おてらおやつクラブ
- カルビー株式会社
- KDDI株式会社
- コージーコーナー株式会社
- ザボディショップジャパン株式会社
- 一般社団法人自然栽培協会
- 株式会社スマイルズ
- ソシオークホールディングス株式会社
- ダノンジャパン株式会社
- 株式会社デファクトスタンダード【ブランディア】
- にいがたお米プロジェクト
- 一般社団法人日本即席食品工業協会
- 日本ロレアル株式会社
- ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
- 吉田 浩一郎
- 株式会社ローソン



こども宅食応援団

※「こども宅食」は登録商標です

発行日：2021年8月

発行元：一般社団法人こども宅食応援団

デザイン：co.to.hana | 大阪・東京のデザイン事務所